

宮城県感染症発生動向調査情報(第47週)

宮城県【平成26年11月27日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2014.11.17 ~ 11.23 ・ 第47週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第44週	第45週	第46週	第47週
水痘	5 1.00	14 1.40	8 1.60		2 0.67	1 0.20		34 1.31	64 1.10	1,973	○→	◎→	◎→	◎
流行性耳下腺炎		1 0.10		1 0.50	2 0.67		1 0.50	10 0.38	15 0.26	616	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	24 4.80	36 3.60	10 2.00	13 6.50	7 2.33	13 2.60	7 3.50	173 6.65	283 4.88	16,173	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病		9 0.90	2 0.40	3 1.50			4 2.00	18 0.69	36 0.62	458	→	→	○→	○
伝染性紅斑	11 2.20	8 0.80	15 3.00		1 0.33	11 2.20	3 1.50	26 1.00	75 1.29	2,455	◎→	◎→	◎→	◎
突発性発しん	5 1.00	7 0.70	3 0.60	2 1.00	2 0.67	2 0.40	2 1.00	13 0.50	36 0.62	1,805	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ								2 0.08	2 0.03	2,429	→	→	→	
インフルエンザ	7 0.88	1 0.07			1 0.20			10 0.24	19 0.20	28,945	→	→	→	
咽頭結膜熱		2 0.20		4 2.00		3 0.60		11 0.42	20 0.34	641	→	→	→	
流行性角結膜炎		3 1.00				1 1.00		1 0.17	5 0.42	156	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14 2.80	27 2.70	5 1.00	3 1.50	1 0.33	26 5.20		93 3.58	169 2.91	5,317	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	16	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	3 3.00			3 3.00	3 0.60	10 0.83	395	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	71 14.20	12 1.20	1 0.20	1 0.50		5 1.00		61 2.35	151 2.60	858	○→	○→	◎→	◎
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1			3	6	1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病							2	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	不明発疹症							2						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								52					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし	*男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核	
塩釜管内	女性1名(第46週)
大崎管内	男性1名
石巻管内	男性2名
仙台管内	男性1名、女性3名
3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O111)	
仙台管内	男児1名*
4類感染症: 報告なし	
5類感染症: アメーバ赤痢	
大崎管内	男性1名
侵袭性肺炎球菌感染症	
石巻管内	男性1名、女性1名
仙台管内	女性1名
梅毒	
仙台管内	女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【伝染性紅斑】
大崎管内で警報値を超えた。
仙南、石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
RSウイルス感染症患者より
仙南管内 第46週採取分 RSウイルス 5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第45週採取分 (11.3～11.9)	第46週採取分 (11.10～11.16)	第47週採取分 (11.17～11.23)
バラインフルエンザウイルス1型	0件	1件	0件
バラインフルエンザウイルス2型	0件	1件	0件
バラインフルエンザウイルス4型	4件	0件	0件
RSウイルス	4件	3件	4件
アデノウイルス	0件	1件	0件
ライノウイルス	0件	0件	2件
サイトメガウイルス	1件	0件	0件

【RSウイルス感染症】
RSウイルス感染症は、RSウイルス感染によって発症する呼吸器感染症である。
今週は特に仙南管内で患者数の増加がみられた。冬期に流行する感染症であり、乳幼児期において、また小児のみならず大人での感染もあり、重要な疾患であることから今後の動向に注意が必要である。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第45週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は長崎県(1.09)、埼玉県(0.56)、沖縄県(0.55)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は12例と前週と同値であり、7県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は3,343例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(1.39)、鳥取県(1.11)、青森県(1.05)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(3.03)、鳥取県(3.00)、福岡県(2.74)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は香川県(9.14)、大分県(6.64)、岡山県(6.52)である。**水痘:** 定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は長野県(2.09)、新潟県(2.07)、青森県(1.60)、山形県(1.60)である。**手足口病:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.03)、愛媛県(2.89)、山形県(2.17)である。**百日咳:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は高知県(0.10)、沖縄県(0.09)、広島県(0.08)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮城県(0.64)、愛媛県(0.62)、新潟県(0.57)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は石川県(1.00)、秋田県(0.75)、埼玉県(0.70)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は減少した。6県から6例報告があり、年齢別では1～4歳(3例)、5～9歳(2例)、50代(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数